

おおい町の保健

(令和6年度)



第4次おおい町ヘルスプラン基本理念

「健康で笑顔の“おおい”まちづくり」

おおい町 すこやか健康課

は じ め に

本書は、令和6年3月に策定した「おい町第4次ヘルスプラン」に基づき令和6年度に実施した保健事業等について取りまとめたものです。

今後も、一人ひとりが生涯にわたって健康を維持できる町を目指して施策を推進してまいります。

＝令和6年度の健康トピックス＝

令和2年度末から開始された新型コロナワクチン接種（臨時接種）については、令和5年度末で終了し、令和6年度からは65歳以上を対象とした定期接種になりました。

本町では、アプリを活用したウォーキングの推進や、減塩対策に取り組んだほか、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として高齢者健康づくり事業を新たに実施しました。

も く じ

令和6年度保健事業実績

1 母子保健

(1) 妊娠期

①妊娠届出 ②健康教育	1
③妊産婦健診受診状況	2
④不妊治療費助成事業	3

(2) 乳幼児期

①出生数	4
②未熟児養育医療給付事業等	5
③訪問指導 ④産後ケア	5
⑤乳幼児健診	6
⑥療育 ⑦健康教育・健康相談	7
⑧母子保健連絡会	7

(3) 学齢期

①健康診査 ②健康教育	8
③保健関係連絡会	8

(4) 青年期

	8
--	---

(5) 母子保健推進員

	8
--	---

2 成人・老人保健

(1) 健康手帳

	9
--	---

(2) ドック健診

	9
--	---

(3) 健康診査

①生活習慣病予防健診等について	10
②各種がん検診等	11～15
③肝炎ウイルス検診	15
④骨粗しょう症検診	16
⑤受診率アップのための施策について	16

(4) 健康教室（運動）

	17～18
--	-------

(5) 健康相談

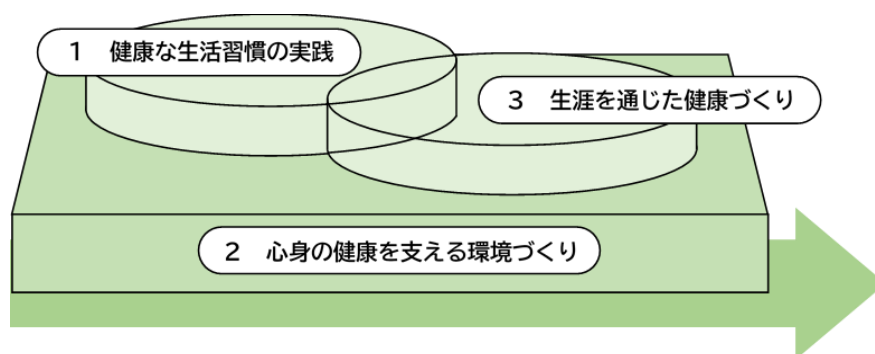
	19
--	----

(6) 保健指導

	19
--	----

3	栄養改善	
	（１）離乳食教室	20
	（２）伝承料理教室	20
	（３）こども食育教室	20
	（４）食いきいき隊	21
4	歯科保健	
	（１）幼児歯科健診	22
	（２）乳幼児歯科指導	22
	（３）おとなの無料歯科健診	23
5	感染症関係	
	（１）定期予防接種	24～26
	（２）任意予防接種	26
	（３）結核検診	26
6	精神保健	
	（１）相談	27
	（２）訪問	27
7	自殺予防	
	（１）普及啓発	27
	（２）こころの相談会	27
参考資料（令和5年統計等）		
	人口等の概況	28～29
	おい町死因順位	30

～第4次おい町ヘルスプラン 重点プロジェクト～



令和6年度

保健事業実績

各事業の大項目もしくは小項目の横に第4次おい町ヘルスアッププランの「9つの活動目標」を記載しております。各事業がどの活動目標に該当しているかご確認ください。

9つの活動目標

分野ごとの健康づくりを推進するため、9つの活動目標を設定しています。

活動目標1

健康状態の把握と管理

活動目標4

地域の支え合いの推進

活動目標7

望ましい栄養・食生活の推進

活動目標2

母子の健康づくり

活動目標5

たばこ・アルコール対策

活動目標8

歯・口腔の健康づくり

活動目標3

こころの健康づくり

活動目標6

身体活動・運動の推進

活動目標9

感染症対策

活動目標1 健康状態の把握と管理

できる限り長く健康で自立した生活を送るためには、日頃から自分の健康状態を把握し、生活習慣を改善することが大切です。

【現状と目標（一部抜粋）】

特定健診受診率(国保被保険者分)

40.1%

実績(R4)

45%

目標(R11)

特定保健指導実施率(国保被保険者分)

42.9%

実績(R4)

50%

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・定期的に健(検)診を受診しよう。
- ・生活習慣の改善や健康管理に努めよう。

町

- ・健(検)診を受診しない理由を把握し、一人ひとりに応じた勧奨を行います。
- ・ICT(スマホアプリ等)を活用し、健康の維持に関する情報を提供します。



活動目標2 母子の健康づくり

子どもが健やかに育つためには、妊娠期から子育て期にわたって安心して子育てができる環境が必要です。

【現状と目標（一部抜粋）】

電子機器の利用に関するルールがある家庭

49.3%

実績(R5)

64%

目標(R11)

今後も現在の地域で子育てをしたい人の割合

82.3%

実績(R4)

90%

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・家族で協力して早寝・早起きをしよう。
- ・電子機器の利用時間に関するルールをつくって、実践しよう。

町

- ・5歳児健診の実施に向けた体制を構築します。
- ・こども家庭センターで育児負担の軽減や子どもの健康維持に向けた支援を行います。



活動目標3 こころの健康づくり

心身ともに健康な生活を送るためには、体の疲れやストレスをためこまないように心がけ、こころの健康を保つことが重要です。

【現状と目標（一部抜粋）】

ストレスを感じている人の割合

28.2%

実績(R5)

25%

目標(R11)

ストレスを感じた時に相談する人の割合

35.0%(男性)

58.0%(女性)

実績(R5)

38%(男性)

63%(女性)

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・悩みを抱え込まずに、周囲の人や専門家に相談しよう。
- ・いつもと様子の違う人がいたら、話を聞いたり、相談に乗ったりしよう。

町

- ・気軽に相談できる機会を充実させるとともに、専門家による相談支援を行います。
- ・相談窓口やこころの健康に関する情報をホームページ等で発信します。



活動目標4 地域の支え合いの推進

地域全体で健康づくりを進めるためには、住民同士の交流を通じて学びや喜び、生きがいを見出すことが大切です。

【現状と目標（一部抜粋）】

知り合いに誘われて運動教室等に
参加した人の割合

30.8%

実績(R5)

33%

目標(R11)

孤独を感じている人の割合

60.2%

実績(R5)

50%以下

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・地域の行事や「集まる場」に進んで参加しよう。
- ・自主防災組織の活動等を通して普段から地域のつながりをつくろう。

町

- ・町内のサロンに関する情報を集めて発信します。
- ・地域活動のリーダーを担う人の発掘・育成を行います。



活動目標5 たばこ・アルコール対策

喫煙や適度な量を超えた飲酒は、身体に悪影響を及ぼし、様々な疾患の原因となることから、注意が必要です。

【現状と目標（一部抜粋）】

喫煙率

15.5%

実績(R5)

12%以下

目標(R11)

適度な量を超えて飲酒している人の割合

25.3%(男性)

4.9%(女性)

実績(R5)

15%(男性)

4%(女性)

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・禁煙外来等を活用して、禁煙に取り組もう。
- ・休肝日を設け、適度な飲酒量を意識しよう。

町

- ・禁煙や禁酒・減酒についての情報提供や指導を行います。
- ・学校と連携し、未成年者の飲酒・喫煙の防止に向けた啓発を行います。



活動目標6 身体活動・運動の推進

体を動かすことは、生活習慣病やこころの健康、生活の質の向上（QOL）の改善につながるため、健康な体をつくるうえで重要です。

【現状と目標（一部抜粋）】

1日あたりの歩数が3,000歩未満の人の割合

11.0%(男性)

6.1%(女性)

実績(R5)

9%(男性)

5%(女性)

目標(R11)

週2回以上運動している人の割合

29.5%(男性)

16.4%(女性)

実績(R5)

38%(男性)

24%(女性)

目標(R11)

【みんなで取り組もう】

住民

- ・日常生活の中で歩く習慣をつけよう。
- ・職場の人や地域の人と一緒に運動を楽しもう。

町

- ・世代や性別を問わず、多くの人に参加しやすい運動に関する取り組みを充実させます。
- ・幅広い世代の人が気軽に参加し、楽しみながら実践できる運動の機会をつくれます。



活動目標7 望ましい栄養・食生活の推進

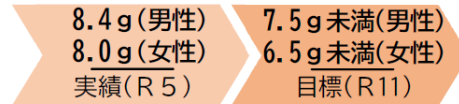
健康を保つためには、3食を規則正しく摂ることや、減塩等を心がけた栄養バランスの良い食生活を送ることが大切です。

【現状と目標（一部抜粋）】

食生活に気を付けている人の割合



推定1日塩分摂取量



【みんなで取り組もう】

住民

- ・家族と一緒に食事をしよう。
- ・1日3食を心がけ、栄養バランスの良い食事（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事・減塩を心がけた食事）を摂ろう。

町

- ・減塩対策等の食習慣改善の取組を推進します。
- ・食生活を通じた高齢者のフレイル予防対策を推進します。



活動目標8 歯・口腔の健康づくり

歯と口の健康を維持することは、食べる喜びを得るだけでなく、体全体の健康を維持・向上するために重要です。

【現状と目標（一部抜粋）】

1日の歯磨きの回数が2回以上の人の割合



3歳児健診時のう歯のある幼児の割合



【みんなで取り組もう】

住民

- ・かかりつけ歯科医を持とう。
- ・定期的に歯科健診や歯科保健指導を受けよう。

町

- ・こども園や学校と連携し、歯科健診や歯科教育を推進します。
- ・高齢者の歯と口の健康づくりを進め、フレイルとの関係性に関する情報を広めます。



活動目標9 感染症対策

感染症の拡大や重症化を予防するためには、一人ひとりが基本的な感染症対策を心がけ、予防に努めることが大切です。

【現状と目標（一部抜粋）】

子どもの予防接種（定期接種）平均接種率



高齢者インフルエンザ予防接種の接種率



【みんなで取り組もう】

住民

- ・感染症や予防接種の効果について理解しよう。
- ・手洗いうがい等の基本的な感染症対策を徹底しよう。

町

- ・世代や性別等に応じて受けることのできる予防接種に関する正しい知識を広めます。
- ・流行期に合わせた注意喚起を行います。



1 母子保健

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
②母子の健康づくり

(1) 妊娠期

①妊娠届出

町では、妊娠届出時に母子健康手帳、妊婦・乳児健康診査受診券を交付している。また、届出時に妊婦と面接を行い、健康状態や出産に対する思い等を聞き取り、必要に応じて支援している。

令和6年度の妊娠届出者数は48人で、ここ数年で最も少ない人数となった。それに伴い、3子以降の妊娠届出も7人と減少している。妊婦の平均年齢は30.1歳で、前年度より1歳程若くなり、第1子の妊娠においても同様の傾向が見られた。

今後も「子育てにやさしい町」を目指し、母子保健サービスや子育て支援サービスのさらなる充実に努める必要がある。

届出者数

	合計	再掲 (3子以降)
R6	48人	7人
R5	53人	11人
R4	49人	14人

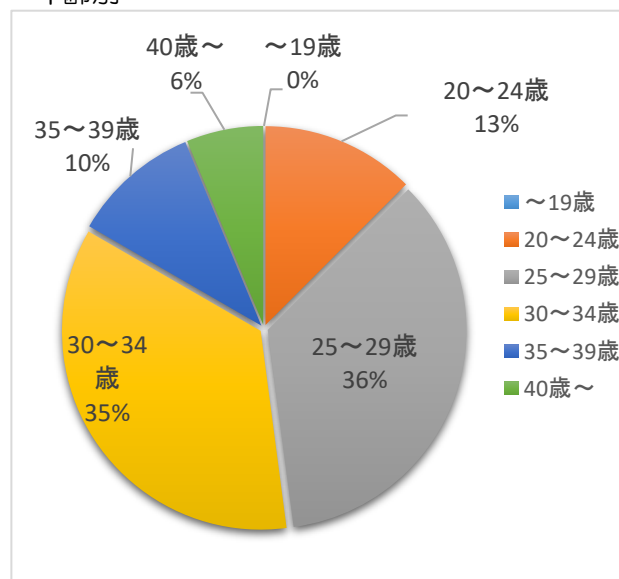
届出時の平均年齢

	平均年齢	再掲 (第1子)
R6	30.1歳	29.3歳
R5	31.3歳	30.3歳
R4	31.0歳	27.1歳

届出週数別

	人数
～11週	48人
12週～	0人

年齢別



☆母子手帳アプリ☆

妊娠中の健診記録やお子さんの成長記録、予防接種のスケジュール管理などがスマートフォンでできる、母子健康手帳アプリ「おいっこ☆ダイアリーby母子モ」を導入している。



②健康教育

マザーズカフェ

妊産婦を対象に、同じ地域で子育てをしていくための仲間作りを、第一の目的に開催している。情報交換の場、気軽に参加できリラックスしてもらえる場、として利用していただくために、飲み物やおやつを提供も行っている。

また、スタッフ（専門職）によるミニ講座を行い、必要な知識を持ち帰ってもらうことや、妊娠生活や育児での悩み等を相談できることを目的に講座を企画している。

※すくすく広場と同日開催。大飯地域4回、名田庄地域で4回開催。

スタッフ：栄養士、助産師、保健師、保育士

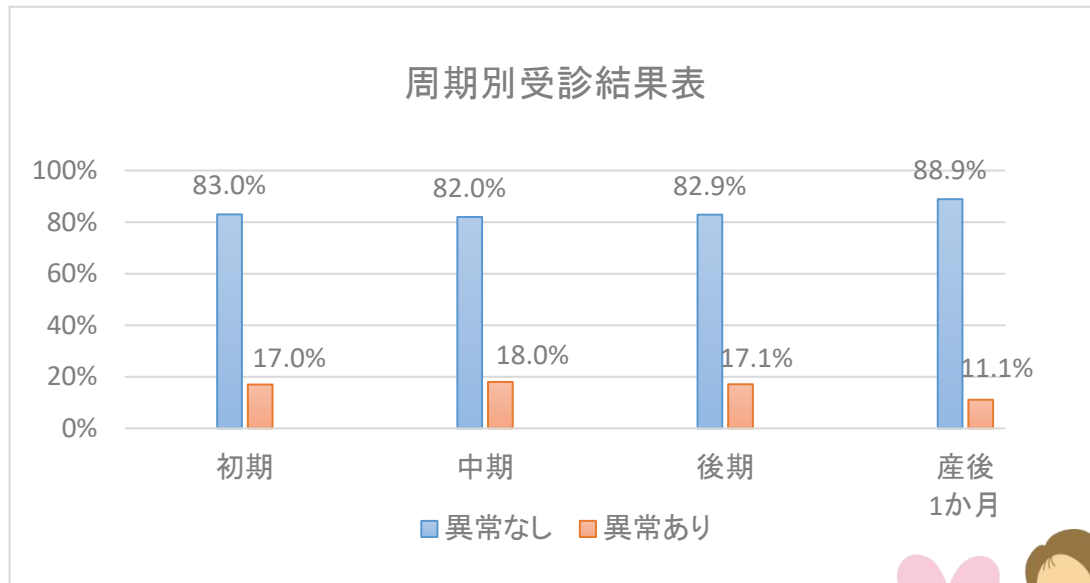
参加者	大飯地域	名田庄地域
R6	78人 (うち妊婦1人)	27人 (うち妊婦1人)
R5	51人 (うち妊婦2人)	14人 (うち妊婦0人)

※産婦はすくすく広場の参加者にも計上



③妊産婦健診受診状況

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
①健康状態の把握と管理 ②母子の健康づくり



* 異常あり内訳（延人数） *

<妊婦健診>

	尿蛋白	尿糖	貧血	その他	備考
初期	4人	2人	0人	2人	低置胎盤・ケトン値高値
中期	1人	3人	0人	5人	浮腫・切迫早産・ケトン値高値
後期	1人	0人	1人	5人	感冒・浮腫

<産婦健診>

	うつの可能性	高血圧	貧血	その他	備考
産後1か月	5人	0人	0人	0人	

妊娠初期・中期に「異常あり」が多いことが分かる。また、長期にわたり尿糖や尿蛋白で「異常あり」の結果が出ている方もいる。妊娠初期から中期における栄養摂取や妊娠期のからだの変化についての知識を付けてもらうことが必要になってくる。特に初産となる方には、医療機関で実施している母親学級や町主催のマザーズカフェ等に積極的に足を運んで、正しい知識を身に付け安心して出産を迎えてもらいたい。

また、数は少ないが産後、精神的に不安定になる方もいる。早めの訪問や町の育児教室等でサポートしていく必要がある。

④不妊治療費助成事業

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
②母子の健康づくり

○助成を受けることのできる経費

国内医療機関での不妊症に係る検査費及び診療費

○助成を受けることのできる方（次の要件にすべて当てはまる方）

- 1) 治療開始時点において法律上の婚姻関係または事実婚関係にあり、夫婦のいずれかが、おい町に1年以上住所がある方
- 2) 不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか、又は極めて少ないと医師に診断された方
- 3) 医療保険に加入している方
- 4) 町税の滞納がない方



○助成額等

1 夫婦につき年間30万円を限度とする。

※福井県の助成制度を優先的に利用することを原則とする。

福井県の助成制度等を利用した場合、その額を引いた額に対し助成をする。

○実績

令和4年度から不妊治療が保険適用になった。治療方法によっては高額な治療費が必要になってくる。経済的負担の軽減や治療機会の拡大を図るため、積極的に県や町の助成制度を周知していきたい。

	令和6年度	令和5年度
町助成総額実績	1,515,248円	769,871円
申請件数（実人数）	20件（11人）	13件（8人）
一般不妊治療	3件	2件
特定不妊治療	17件	11件
妊娠された人数	7人	5人
治療費平均（申請額）	226,954円/件	161,986円/件
一般不妊治療	121,285円/件	81,700円/件
特定不妊治療	245,602円/件	175,368円/件
町助成平均額（1件当り）	75,762円/件	54,991円/件
一般不妊治療	71,707円/件	64,200円/件
特定不妊治療	76,478円/件	53,456円/件
町助成平均額（1人当り）	137,750円/人	64,156円/人
一般不妊治療	71,707円/人	64,200円/人
特定不妊治療	162,516円/人	64,147円/人

※小数点以下は四捨五入

一般不妊治療…タイミング法、ホルモン療法、人工授精など
特定不妊治療…体外受精、顕微授精

(2) 乳幼児期

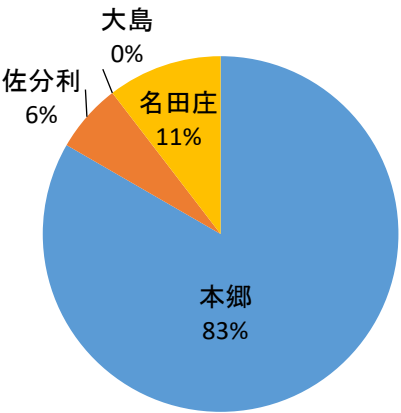
第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
②母子の健康づくり

①出生数

	合計	本郷	佐分利	大島	名田庄
R6	48人	40人	3人	0人	5人
R5	43人	24人	3人	6人	10人
R4	57人	41人	4人	4人	8人



小学校区別の割合



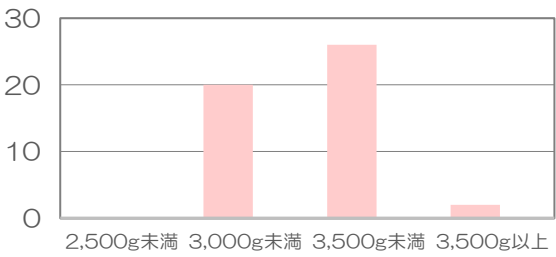
体重別

2,500g未満	3,000g未満	3,500g未満	3,500g以上
0人	20人	26人	2人

平均体重	3,075g
------	--------



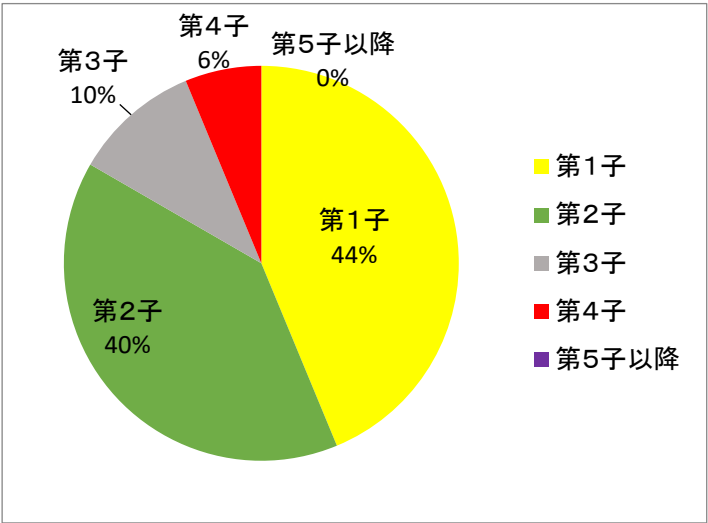
体重別の出生数



出生順位別

第1子	21人
第2子	19人
第3子	5人
第4子	3人
第5子以降	0人

出生順位の割合



出生数は年々減少している。第1子よりも第2子以降の割合が高い。
出生数を地域別で見ると、本郷地区の出生数が最も多く、大島地区は0人だった。
出生体重別では、低出生体重児や大きく生まれる児も少数いるが、大多数が2,500g～3,500gで出生していることが分かる。

②未熟児養育医療給付事業等

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
②母子の健康づくり

ア) 低体重児の届出

2,500g未満で出生した場合は、保護者が町に届出する必要がある。
令和6年度の届け出は0件だった。

イ) 未熟児の訪問指導

病院からの連絡や、未熟児養育医療給付の申請を通して、養育上必要があるときは、保護者に対して訪問指導を行っている。令和6年度は1件であった。

ウ) 未熟児養育医療の給付

出生体重2,000g以下の児や身体の発育が未熟なまま出生した児が、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至るまでのものに対し、医師が入院養育を必要と認めたものに医療の給付を行う事業である。

出生時の 体 重	1,000g 以下	1,001g 以上 1,500g 以下	1,501g 以上 1,800g 以下	1,801g 以上 2,000g 以下	2,001g 以上 2,300g 以下	2,301g 以上 2,500g 以下	2,501g 以上	計
R6	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人
R5	0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	2人

③訪問指導

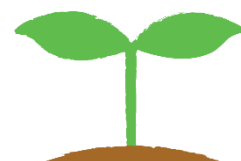
対象	実施者
妊婦	0人
産婦	52人
新生児	1人
乳児	51人
幼児	0人
その他	2人

生後4か月以内に全家庭を、その後は必要に応じて随時訪問している。
第1子については助産師が訪問し、授乳や体重増加に関する相談に対応している。
若年での妊娠・出産や、親子関係・家族関係等で気がかりな家庭には、定期的に訪問したり、電話確認を行い、継続的に支援している。
また、他の関係機関とも協力し、支援に取り組んでいる。

④産後ケア

不安定になりがちな産後のお母さんが、安心して子育てができるように産後ケアを実施している。利用時は助産師による育児に関する相談や沐浴の指導を受けられるほか、昼食をとったり、赤ちゃんを預けて休憩したり等、お母さんが心身ともに休息する時間として活用できる。生後1年までの赤ちゃんとお母さんを対象に、年2回の利用が可能である。

	実人数	延人数
R6年度	6人	9人
R5年度	5人	7人



⑤乳幼児健診

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標

- ①健康状態の把握と管理 ②母子の健康づくり
- ③こころの健康づくり ⑥身体活動・運動の推進
- ⑦望ましい栄養・食生活の推進
- ⑧歯・口腔の健康づくり ⑨感染症対策



町では、母子の健やかな成長・発達の確認と支援のため、乳幼児健診を実施している。受診者全体の約2～4割に何らかの所見がある。

有所見者には、医療機関への受診勧奨や療育相談教室への参加を促している。

	1か月児	4か月児	6～7か月児	9～10か月児
実施方法	医療機関	医療機関	集団	医療機関
対象者数	48人	45人	41人	45人
受診者数	48人	44人	41人	43人
受診率	100.0%	97.8%	100.0%	95.6%
有所見者	7人	7人	11人	11人
有所見率	14.6%	15.9%	26.8%	25.6%
有所見内訳	【要指導】⇒4人 ・スキンケア4人 【要観察】⇒3人 ・低身長・低体重1人 ・先天性疾患1人 ・水腎症1人 【要治療（治療中）】⇒2人 ・臍肉芽2人	【要観察】⇒5人 ・未定頸4人 ・先天性疾患1人 【要治療（治療中）】⇒3人 ・臍ヘルニア1人 ・湿疹1人 ・難聴1人	【要指導】⇒1人 ・離乳食1人 【要観察】⇒9人 ・体重増加不良4人 ・養育環境2人 ・低身長1人 ・皮膚疾患1人 ・先天性疾患1人 【要治療（治療中）】⇒1人 ・てんかん性疾患1人	【要指導】⇒1人 ・離乳食について1人 【要観察】⇒6人 ・やせ2人 ・運動発達遅延2人 ・精神発達遅延1人 ・移動精巣1人 【要治療（治療中）】⇒5人 ・アトピー性皮膚炎1人 ・貧血3人 ・てんかん1人
	1歳6か月児	※2歳児	3歳児	
実施方法	集団	集団	集団	
対象者数	52人	59人	64人	
受診者数	52人	59人	64人	
うち内科診察受診者		14人		
受診率	100%	100.0%	100.0%	
有所見者	16人	10人	20人	
有所見率	30.8%	16.9%	31.3%	
有所見内訳	【要指導】⇒3人 ・皮膚疾患3人 【要観察】⇒11人 ・全体的発達遅延4人 ・言語発達遅延3人 ・低身長3人 ・多動1人 【要治療（治療中）】⇒1人 ・喘息1人 【要精検】⇒1人 ・腹部膨満1人	【要指導】⇒1人 ・スキンケア1人 【要観察】⇒6人 ・言語発達遅滞5人 ・視線1人 【要治療（治療中）】⇒1人 ・心室中隔欠損1人 【要精検】⇒2人 ・全体的発育遅滞1人 ・低身長1人	【要観察】⇒6人 ・情緒行動上の問題3人 ・言語発達遅滞2人 ・養育環境1人 【要治療（治療中）】⇒3人 ・湿疹2人 ・多動1人 【要精検】⇒15人 ・乱視や遠視疑い8人 ・低身長3人 ・心雑音1人 ・コミュニケーション1人 ・停留睪丸1人 ・多動1人	視機能の異常を幼少期の段階から発見し治療につなげるため、令和3年度から視機能検査機器を導入している。  ※所見が複数ある場合は各項目でそれぞれ計上しているため、有所見内訳の合計と有所見者数は一致しない

※2歳児健診は希望者等に内科診察を受診。

⑥療育

療育相談事業として、幼児健診や育児教室、保護者・家族からの相談で、言葉や運動面での遅れや対人関係等で気がかりな子ども、子どもとの関わりにくさや育児に不安を感じている保護者を対象とし、月1回実施している。

「はぐはぐ」の対象を1歳6ヶ月～年少、「ぐんぐん」の対象を年中～年長とし、対象年齢で2つの療育教室に分け、年齢に合った療育のプログラムを実施している。

はぐはぐ（療育教室）

対象：1歳6か月～年少

スタッフ:言語聴覚士,臨床心理師,
保育士,保健師

参加者

	R6年度	R5年度
実人数	18人	15人
延人数	27人	50人

ぐんぐん（療育教室）

対象：年中～年長

スタッフ:言語聴覚士,保育士,保健師

参加者

	R6年度	R5年度
実人数	10人	8人
延人数	42人	23人

⑦健康教育・健康相談

【1】すくすく広場（育児教室・相談）

母子の交流の場や育児不安の軽減の場として月1回実施している教室。講師の先生による遊びのプログラムなど年間を通して様々な内容で行っている。また、保健師・助産師・保育士による育児相談や身体計測、栄養士による栄養相談も実施している。

近年、保育園への入園時期が早いこともあり、参加人数が減少傾向にある。未就園児の母が息抜きや交流の場としても利用できるよう、引き続き赤ちゃん訪問やホームページ等で周知をしていく。

	内 容	参加者	
		R6年度	R5年度
大飯地域	子どものごはんのおはなし	20人	26人
	親子でふれあい遊び	62人	100人
	絵本の読み聞かせ	36人	52人
	保健師・保育士企画編	36人	29人
	自由あそび+マザーズカフェ	154人	105人
名田庄地域	自由あそび+マザーズカフェ	134人	99人
	子どものごはんのおはなし	8人	8人
	計	450人	419人



【2】母子講演会

子育て中の方を対象に、保護者の育児不安の軽減や子育てが有意義なものになることをねらいとした講演会を実施している。

令和6年度（2回実施）

場所：保健福祉センターなごみ

内容：第1回：前向き子育てのパワー

参加者数： 9人

内容：第2回：子どもの自信を育てる

参加者数：14人

⑧母子保健連絡会

関係機関との連携のため、気がかりな家庭、親、子どもの情報交換を行い、今後の支援方法について検討している。年2回実施。

参加者：保育担当、学校特別支援担当、障害福祉担当、家庭相談員、保健師

(3) 学齢期

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
①健康状態の把握と管理 ②母子の健康づくり

①健康診査

各小中学校で年に1回実施している。

②健康教育

大飯・名田庄中学校1年生を対象に、生命の誕生・子育ての仕方・赤ちゃんの抱き方等についての学習を行っている。

学校に保健師が赴いて赤ちゃんについての講演を行ったあと、実際に赤ちゃんに触れ合う体験をしている。

③保健関係連絡会

地域保健と学校保健の連携のために連絡会を開催している。

各学校の保健事業を中心とした現状報告を行い、それを踏まえた上で各校と町の教育・保健部門がそれぞれの立場でどのように連携できるか協議を行っている。

(4) 青年期

次の世代の命を育む大切な準備の時期であるが、生活状況はつかみにくいというのが現状である。青年期特有の事業展開はなく、他の世代同様の情報をインターネットや広報誌等のメディアを活用して提供している。子ども子育て支援事業計画に沿って事業を展開していく予定である。

健康診査等は高校・大学・職場等で実施されており、それぞれの機関で管理されているため、実態を把握していないのが現状である。

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
②母子の健康づくり ④地域の支え合いの推進

(5) 母子保健推進員

大飯地域8人、名田庄地域2人の計10人で活動をしている。

町の乳幼児健診を中心に、地域で母親と子どもが健やかにすごせるよう身近な相談役として活躍中である。

活動状況

	回数	人数(延)	備 考
健 康 診 査 協 力	22回	50人	計測等
打 合 会 ・ 研 修 会	2回	5人	テーマ 1回目：前向き子育てのパワー 2回目：子どもの自信を育てる

2 成人・老人保健

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
①健康状態の把握と管理

(1) 健康手帳

壮年期からの健康管理に活用してもらうため、40歳以上の者を対象に交付していたが、平成29年度からは、対象者が厚生労働省ホームページからダウンロードする方式に変更となった。紙の健康手帳を希望する者には、随時交付することとしている。

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
①健康状態の把握と管理

(2) ドック健診

対象者：年度中に40・45・50・55・60・65・70歳に達する国保加入者
検査項目：町の基本健診と同じ項目＋腹部エコー、胃カメラ、胸部X線、便潜血

	令和6年度		令和5年度	
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	対象者数 (人)	受診者数 (人)
40歳	14	2	6	1
45歳	7	2	13	0
50歳	12	1	8	2
55歳	15	6	17	1
60歳	18	4	16	5
65歳	42	11	64	12
70歳	99	27	68	18
計	207	53	192	39

(3) 健康診査

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
①健康状態の把握と管理

①生活習慣病予防健診等について

町では、生活習慣病の予防と早期発見を目的に、特定健診をはじめ、後期高齢者健診や生活保護世帯の者などを対象にした健診を実施している。

令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種健診において受診者数・受診率ともに、前年度を大きく下回る結果となっていた。令和3年度から受診率は回復傾向であり、令和5年度はコロナ禍前を上回る受診率となった。前年度と比較し、後期高齢者健診は増加しているが、特定健診はやや減少している。

ア 特定健診の受診者数（40～74歳の国保被保険者）

	対象者数	受診者数	受診方法の内訳					受診率	
			集団健診	個別健診	ドック	データ提供	診療情報提供		
R6	1,187	476	190	205	53	11	17	40.1%	(実数)
R5	1,204	489	233	190	39	21	9	40.9%	(実数)
	1,116	459	212	180	39	20	8	41.1%	(法定報告値)
R4	1,251	502	214	198	55	24	11	40.1%	(実数)
	1,147	458	189	186	52	20	11	39.9%	(法定報告値)

イ 後期高齢者健診の受診者数

	対象者数	受診者数	受診方法の内訳		受診率
			集団健診	個別健診	
R6	1,295	365	214	151	28.2%
R5	1,274	347	183	164	27.2%
R4	1,244	293	145	148	23.6%

ウ 生活習慣病予防健診の受診者数（生活保護受給者）

	対象者数	受診者数	受診率
R6	10	0	0.0%
R5	10	0	0.0%
R4	10	1	10.0%

エ 生活習慣病予防健診の受診者数（40歳未満の者）

	対象者数	受診者数
R6	-	7
R5	-	9
R4	-	14



②各種がん検診等

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標

- ①健康状態の把握と管理
⑤たばこ・アルコール対策

ア) がん検診対象者数

対象者数は、国勢調査をもとに算出されたものを使用している（県より公表）。

なお、国の【がん対策推進基本計画（平成24年6月）】および【第二次福井県がん対策推進計画（平成25年3月）】において、「受診率の算定にあたっては69歳までを対象とする」とされているため、69歳までの受診率と年齢上限なしの受診率を可能な限り併記する。

令和3年度からは、下記の対象者数で受診率を算定している。

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
年齢区分	50～69歳	40～69歳	40～69歳	20～69歳	40～69歳
対象者数	626人	752人	752人	553人	406人
年齢区分	50歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上
対象者数	2,272人	2,398人	2,398人	1,594人	1,447人

対象者数＝①－②＋③

- ①対象年齢人口（国勢調査）
②就業者数（国勢調査）
③農林水産業従事者数（国勢調査）

イ) 胃がん検診

胃がん検診は、集団検診では胃X線検査（バリウム）を、個別検診では胃X線検査（バリウム）と胃内視鏡検査（胃カメラ）を実施している。がん検診の指針に基づき、対象者は50歳以上（2年に1回）とし、おい町では当該年度に偶数年齢となる方へ案内している。

※1 受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100

胃がん検診（バリウム・胃カメラ）受診者数及び受診率

		対象者数 (人)	受診者数（人）					2年連続 受診者数 (人)	受診率※ (%)
			バリウム		カメラ		合計		
			集団	個別	集団	個別			
R6	50～69歳	626	26	11		113	150	15	46.3%
	50歳以上	2,272	51	15		215	281	15	25.6%
R5	50～69歳	626	32	3		120	155	22	46.2%
	50歳以上	2,272	59	5		251	315	22	24.6%
R4	50～69歳	626	41	8		107	156	18	50.2%
	50歳以上	2,272	64	12		189	265	18	24.5%

胃がん検診精密検査受診状況（40歳以上）

		受診者数	要精密 検査者数 (年度中)	異常 認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者ま たは未確定	がん以外の 疾患であ った者	未把握
R5	実数(人)	315	17	1	1	0	13	2
	割合(%)		5.4	0.3	0.3	0.0	4.1	0.6
R4	実数(人)	265	24	2	0	0	20	2
	割合(%)		7.6	0.6	0.0	0.0	6.3	0.6
R3	実数(人)	310	20	1	0	2	17	0
	割合(%)		6.5	0.3	0.0	0.6	5.5	0.0

ウ) 肺がん検診

40歳以上を対象に、1年に1回、胸部レントゲン検査を実施している。また、喫煙者（1日の喫煙本数×年数＝600本以上）では喀痰検査の追加を勧奨している。

肺がん検診受診者数及び受診率

		対象者数 (人)	受診者数（人）			受診率 (%)
			集団	個別	合計	
R6	40～69歳	752	141	161	302	40.2%
	40歳以上	2,398	437	372	809	33.7%
R5	40～69歳	752	212	134	346	46.0%
	40歳以上	2,398	485	353	838	34.9%
R4	40～69歳	752	183	126	309	41.1%
	40歳以上	2,398	422	331	753	31.4%

肺がん検診精密検査受診状況（40歳以上）

		受診者数	要精密 検査者数 (年度中)	異常 認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者ま たは未確定	がん以外の 疾患であ った者	未把握
R5	実数(人)	838	25	5	1	1	11	7
	割合(%)		3.0	0.6	0.1	0.1	1.3	0.8
R4	実数(人)	753	31	9	1	1	18	2
	割合(%)		3.7	1.1	0.1	0.1	2.1	0.2
R3	実数(人)	797	39	11	1	2	18	7
	割合(%)		4.9	1.4	0.1	0.3	2.3	0.9

エ) 大腸がん検診

40歳以上を対象に、1年に1回、便潜血検査（2日法）を実施している。

大腸がん検診受診者数及び受診率

		対象者数 (人)	受診者数（人）			受診率 (%)
			集団	個別	合計	
R6	40～69歳	752	207	159	366	48.7%
	40歳以上	2,398	533	335	868	36.2%
R5	40～69歳	752	253	136	389	51.7%
	40歳以上	2,398	566	312	878	36.6%
R4	40～69歳	752	218	147	365	48.5%
	40歳以上	2,398	471	325	796	33.2%

大腸がん検診精密検査受診状況（40歳以上）

		受診 者数	要精密 検査者数 (年度中)	異常 認めず	がんで あった者	腺腫の あった者	がんの疑い のある者ま たは未確定	がん以外 の疾患であ った者	未把握
R5	実数(人)	878	38	7	5	10	1	4	11
	割合(%)		4.3	0.8	0.6	1.1	0.1	0.5	1.3
R4	実数(人)	796	33	8	0	13	0	3	9
	割合(%)		3.8	0.9	0.0	1.5	0.0	0.3	1.0
R3	実数(人)	835	41	9	0	12	0	10	10
	割合(%)		4.9	1.1	0.0	1.4	0.0	1.2	1.2

オ) 子宮頸がん検診

20歳以上を対象に2年に1回、子宮頸部細胞診検査を実施している。

※1 受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100

子宮頸がん検診受診者数及び受診率

		対象者数 (人)	受診者数(人)			2年連続 受診者数 (人)	受診率 (%)	※2
			集団	個別	合計			
R6	20～69歳	553	35	151	186	15	87.5%	
	20歳以上	1,594	94	195	289	15	41.2%	
R5	20～69歳	553	130	183	313	19	104.2%	
	20歳以上	1,594	187	195	382	19	44.1%	
R4	20～69歳	553	113	169	282	24	101.3%	
	20歳以上	1,594	159	181	340	24	43.0%	

※2 個別検診受診者には、妊婦健診受診者(20歳以上のみ・健康管理協会分)を含む。

子宮頸がん検診精密検査受診状況(20歳以上)

		受診 者数	要精密 検査者数 (年度中)	異常 認めず	がんで あった者	CIN等 異形成で あった者	がんの疑い のある者ま たは未確定	がん及びCIN (異型成等) 以外の疾患で あった者	未把握
R5	実数(人)	382	6	4	0	2	0	0	0
	割合(%)		1.6	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
R4	実数(人)	340	3	0	0	3	0	0	0
	割合(%)		0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
R3	実数(人)	369	3	1	0	2	0	0	0
	割合(%)		0.8	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0

カ) 乳がん検診

40歳以上を対象に、2年に1回マンモグラフィ検査を実施している。

※1 受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100

乳がん検診受診者数及び受診率

		対象者数 (人)	受診者数(人)			2年連続 受診者数 (人)	受診率 (%)
			集団	個別	合計		
R6	40～69歳	406	96	73	169	18	91.6%
	40歳以上	1,447	135	92	227	18	37.2%
R5	40～69歳	406	141	80	221	13	105.9%
	40歳以上	1,447	234	95	329	13	44.0%
R4	40～69歳	406	118	72	190	22	96.1%
	40歳以上	1,447	162	80	242	22	37.4%

乳がん検診精密検査受診状況(40歳以上)

		受診 者数	要精密 検査者数 (年度中)	異常 認めず	がんで あった者	がんの疑い のある者ま たは未確定	がん以外の 疾患で あった者	未把握
R5	実数(人)	329	20	13	1	0	5	1
	割合(%)		6.1	4.0	0.3	0.0	1.5	0.3
R4	実数(人)	242	14	7	0	0	7	0
	割合(%)		4.3	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
R3	実数(人)	321	16	7	1	0	8	0
	割合(%)		5.0	2.2	0.3	0.0	2.5	0.0

各がん検診の受診者数は令和4年度から徐々に回復し、令和5年度にはコロナ禍前の受診率を上回っていたが、令和6年度はいずれの検診も減少し、特に集団検診の受診者数が大幅に減少した。

このうち、子宮頸がん検診・乳がん検診については、令和6年度から集団検診会場毎に定員を設けたことが要因として考えられる。個別医療機関が近隣に少ない現状から集団検診での受診を希望する者は定員数以上に存在するものの、医師確保の問題から会場数を今以上に増やすことはできない現状にある。

精密検査では、大腸がん検診の受診率が国の目標とする90%以上をはるかに下回っている。手軽に受けることができる一方で、「要精密検査」となった際の検査方法や受診の必要性を十分に理解しないまま受診している方も多いと考えられる。受診者の検診の目的や精密検査の重要性等の説明、要精検者への受診勧奨を徹底していく。

キ) がん検診無料クーポン券

がん検診受診のきっかけづくり、継続支援を目的に、対象年齢の者に対し無料クーポン券を配布している。

○対象者

肺・大腸がん検診 41・46・51・56・61歳の男女
胃がん検診 51・56・61歳の男女
乳がん検診 41・46・51・56・61歳の女性
子宮頸がん検診 21・26・31・36・41歳の女性

令和6年度実績

	対象者数	クーポン利用者数			受診率
		集団	個別	合計	
胃がん検診	310人	5人	47人	52人	16.8%
肺がん検診	498人	19人	51人	70人	14.1%
大腸がん検診	498人	36人	39人	75人	15.1%
乳がん検診	232人	28人	19人	47人	20.3%
子宮頸がん検診	143人	6人	15人	21人	14.7%

(参考) 令和5年度実績

	対象者	利用者	受診率
胃がん検診	301人	44人	14.6%
肺がん検診	486人	66人	13.6%
大腸がん検診	486人	75人	15.4%
乳がん検診	229人	66人	28.8%
子宮頸がん検診	188人	56人	29.8%

(内訳) 年齢別・男女別の受診者数

		胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診		乳がん検診
		男	女	男	女	男	女	女
41歳	集団			1	4	1	8	7
	個別			1	4	0	5	2
	計			2	8	1	13	9
46歳	集団			1	4	2	5	6
	個別			3	6	1	5	4
	計			4	10	3	10	10
51歳	集団	1	2	1	3	0	4	5
	個別	3	6	1	4	3	3	3
	計	4	8	2	7	3	7	8
56歳	集団	1	1	0	3	1	9	6
	個別	6	12	4	10	4	7	5
	計	7	13	4	13	5	16	11
61歳	集団	0	0	0	2	1	5	4
	個別	11	9	10	8	7	4	5
	計	11	9	10	10	8	9	9
計	集団	2	3	3	16	5	31	28
	個別	20	27	19	32	15	24	19
	計	22	30	22	48	20	55	47

		子宮頸がん検診
		女
21歳	集団	0
	個別	1
	計	1
26歳	集団	1
	個別	0
	計	1
31歳	集団	0
	個別	4
	計	4
36歳	集団	0
	個別	3
	計	3
41歳	集団	5
	個別	7
	計	12
計	集団	6
	個別	15
	計	21

ク) 禁煙対策

喫煙者数 (人)

			R4	R5	R6
40～74歳	喫煙あり	男	50	40	41
		女	12	8	5
	喫煙なし	男	186	180	176
		女	267	227	211
75歳以上	喫煙あり	男	10	12	14
		女	0	1	2
	止めた	男	51	60	69
		女	4	2	2
	喫煙なし	男	59	72	74
		女	168	198	198
喫煙率			8.9	7.6	7.8

ケ) がん患者アピアランスサポート事業

がん治療による外観変貌に対応した補整具への助成を行っている。

助成額：一人1回かかった費用の1/2 (20,000円上限)

	助成	相談
R6	0	1
R5	0	1
R4	0	1

※令和3年度まで県事業、令和4年度より市町事業に変更。

令和6年度より助成額の上限を拡大 (10,000円→20,000円)

③肝炎ウイルス検診

対象者 : 40歳以上でこれまで一度も肝炎ウイルス検査を受けたことのない者

※当該年度4月の40歳以上人口から過去の受診者数をひいて算出

検査項目：B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査

B型	対象者数	当該年度受診者数			単年度 受診率
		(再掲) 結果内訳			
		陽性	陰性		
R6	3,389	59	0	59	1.7%
R5	3,474	85	0	85	2.4%
R4	3,556	82	0	82	2.3%

C型	対象者数	受診者数			単年度 受診率
		(再掲) 結果内訳			
		①②③	④⑤		
R6	3,389	59	0	59	1.7%
R5	3,474	85	0	85	2.4%
R4	3,556	82	0	82	2.3%

結果内訳の見方 ①②③ : 現在C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い
④⑤ : 現在C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い

令和4年度から5年度にかけては80人程度でほぼ横ばいとなっていたが、6年度はやや減少した。

④骨粗しょう症検診

5歳ごとの節目年齢を対象に骨粗鬆症検診を実施している。年齢が高くなるほど要精検者が多くなっており、特に女性の要精検者が多い。

	R6					R5				
	年齢	受診者数	内訳			年齢	受診者数	内訳		
			要精検者	要指導者	異常認めず			要精検者	要指導者	異常認めず
男	40歳	1	1	0	0	40歳	3	2	0	1
	45歳	1	0	1	0	45歳	1	0	1	0
	50歳	0	0	0	0	50歳	1	0	1	0
	55歳	1	0	1	0	55歳	2	0	1	1
	60歳	1	1	0	0	60歳	0	0	0	0
	65歳	4	3	0	1	65歳	1	1	0	0
	70歳	4	3	1	0	70歳	2	0	2	0
	合計	12	8	3	1	合計	10	3	5	2
女	40歳	5	0	2	3	40歳	4	2	1	1
	45歳	5	4	1	0	45歳	7	1	1	5
	50歳	1	0	1	0	50歳	5	2	1	2
	55歳	5	1	3	1	55歳	10	3	3	4
	60歳	1	1	0	0	60歳	8	5	0	3
	65歳	7	6	0	1	65歳	6	4	1	1
	70歳	10	8	2	0	70歳	9	7	2	0
	合計	34	20	9	5	合計	49	24	9	16

⑤ 受診率アップのための施策について（取組結果）

【1】人工知能（AI）を活用した受診勧奨

過去の特定健診受診歴や問診票の回答内容、医療機関への受診状況などを分析し、対象者の健康意識に応じて勧奨通知物（はがき）の内容を変え、年2回送付した。

【2】節目年齢の自己負担金無料化

節目年齢の方を対象に、がん検診及び特定健診の自己負担金を無料とし、受診のきっかけづくりを図った。

(4) 健康教室（運動）

第4次おい町ヘルスプラン

①健康状態の把握と管理

9つの活動目標

⑥身体活動・運動の推進

●ノルディックウォーキング教室

2本のポールを使うことにより、膝や腰への負担が軽減されるほか、全身の筋肉を使う運動効率の高いノルディックウォーキングを学ぶ教室。

ポールの無料貸出を随時行っている。

令和5年度		令和6年度	
場所	参加人数	場所	参加人数
保健福祉センター なごみ	15人	名田庄 (あっとほ〜むいきいき館)	12人

●からだ測定会

「筋力」「柔軟性」「すばやさ」「バランス」に関する測定と評価を行い、講師より結果の解説と、アドバイスが受けられる教室。



令和5年度		令和6年度	
場所	参加人数	場所	参加人数
保健福祉センターなごみ	23人	保健福祉センターなごみ	19人

●ウォーキング教室

ウォーキングの効果を最大限に引き出すためのフォームと、自分に合った運動強度を学ぶ教室。実際に屋外でのウォーキングも行った。

令和5年度		令和6年度	
場所	参加人数	場所	参加人数
保健福祉センターなごみ	11人	保健福祉センターなごみ	18人

●ストレッチと筋力アップの教室

令和6年度は、ストレッチポールを使用した講座と、家でできる筋力トレーニングの2回シリーズで開催した。ストレッチポールの無料貸出を随時行っている。

	令和5年度		令和6年度	
	保健福祉センター なごみ	あっとほ〜む いきいき館	保健福祉センター なごみ	あっとほ〜む いきいき館
回数(延べ)	2回	2回	2回	2回
参加者数(延べ)	13人	12人	37人	21人

●元気アップ体操

町のオリジナル体操「おいに広がれ元気アップ体操」の普及と推進を目的として、講習会の開催や、チャンネルOローカル放送内やデジタルサイネージでの動画の放映を行っている。

●Let'sウォーク15+（いちごプラス）

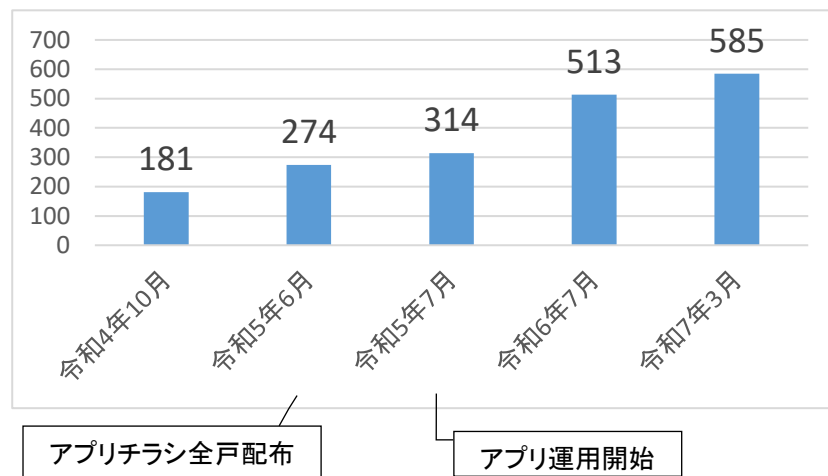
※15+（いちごプラス）とは、「いつもより15分（約1500歩）プラスして歩こう」

専用アプリを活用し、一日の歩数、健診受診、イベントへの参加等でポイントを進呈。貯まったポイントは、年度末に景品に交換ができる。

対象：おおい町民でスマートフォンをお使いの方



アプリ利用者の推移



アプリ利用者（年代別）

（令和7年3月末）

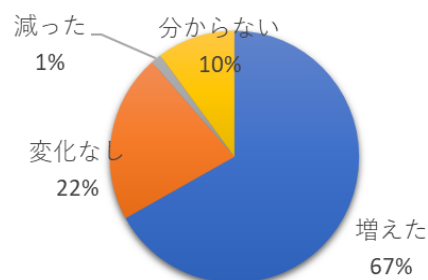
	人数（人）	割合
10代以下	12	2.1%
20代	24	4.1%
30代	81	13.8%
40代	78	13.3%
50代	100	17.1%
60代以上	237	40.5%
不明	53	9.1%
計	585	

アプリ利用者アンケート結果

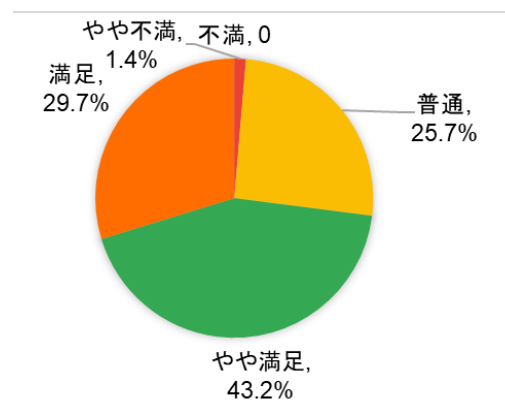
アンケート実施時期： 令和6年4月～7月末

回答数：146

アプリ利用前と比較して活動量（歩数）
に変化はありましたか



本事業に対する満足度



【自由意見】（一部抜粋）

- ・ポイント制は、歩く目標になり楽しいです
- ・体について考える良いきっかけになりました。
- ・地域ポイントがあることで夏場や冬場の気候が悪い時期でも「歩こう」とモチベーションが維持できます。
- ・ポイントが入るのが嬉しくて歩く歩数が増えました。
- ・毎日、目標歩数を上回るように意識するようになった
- ・効果は分からないけど、運動に対する意識が変わったと思います。
- ・高齢者になると、スマホのお知らせ欄が見にくい

(5) 健康相談

健康に関する相談への対応はなごみ・いきいき館で随時行っているが、毎週木曜日を定例相談日としている。集団健診会場やホームページ等で周知を行っているが、相談者は年々減少している。

①一般健康相談

	開催回数	相談者数	内訳	
			64歳以下	65歳以上
R6	52	4	0	4
R5	52	13	1	12
R4	52	2	0	2

②老人クラブ健康相談等

	開催回数	参加者数	個別相談	内訳	
				64歳以下	65歳以上
R6	32	272	46	0	46
R5	31	288	71	0	71
R4	20	205	44	0	44

(6) 保健指導

健診結果に基づき、保健師・管理栄養士・訪問指導員が面談・電話・手紙による保健指導や受診勧奨を実施している。

対象別名	令和6年				令和5年			
	64歳以下		65歳以上		64歳以下		65歳以上	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
一般要指導者等	4	4	15	15	14	15	16	16
①（再掲）糖尿病	3	3	6	6	1	1	3	3
②（再掲）高血圧	3	3	7	7	5	6	9	9
③（再掲）高脂血症	3	3	9	9	5	5	5	5
④（再掲）高尿酸血症	0	0	0	0	1	1	0	0
⑤（再掲）肥満	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥（再掲）その他	0	0	9	9	1	1	4	4

3 栄養改善

第4次おいおい町ヘルスプラン 9つの活動目標

②母子の健康づくり

⑦望ましい栄養・食生活の推進

(1) 離乳食教室

初期・中期・後期の3回シリーズで開催している。

	回数	対象者(延べ)	参加者(延べ)	参加率
R6	22回	133組	81組	60.9%
R5	22回	147組	64組	43.5%



【内容】

- ① おはなし（離乳食の進め方のポイント）
- ② 試食（赤ちゃんの月齢に合った離乳食の試食）
- ③ 栄養、育児に関する個別相談（保健師、助産師、栄養士、保育士が対応）
- ④ 身体計測（希望者のみ）

第4次おいおい町ヘルスプラン 9つの活動目標

②母子の健康づくり

④地域の支え合いの推進

⑦望ましい栄養・食生活の推進

（2） 传承料理教室

町内小中学校にて、若狭地方に古くから伝わる料理のいわれを伝えたり調理実習の指導をしている。感染予防対策を徹底し、調理実習・試食を行った。



第4次おいおい町ヘルスプラン 9つの活動目標

②母子の健康づくり

⑦望ましい栄養・食生活の推進

(3) こども食育教室

児童の朝食欠食率0%を目標とし、「しっかり食べよう朝ごはん」をテーマに、町内小学校4校の小学6年生家庭科授業内で実施している。

【内 容】

- ① 栄養士からのおはなし
 - ・朝ごはんでは体と頭が目覚める仕組み
 - ・今日の朝ごはんは何メダル？（紙芝居）
- ② 元気になる朝ごはんを考えよう！

料理カードを使って栄養バランス、彩りを考えながら朝食の献立を考える。
- ③ 2日間の朝ごはんを調べよう（ワークシート）

自分が食べた2日間の朝ごはんを調べて、赤・黄・緑の食品群が揃っているか確認する。後日、栄養士からのコメントを添えて返却する。



(4) 食いきいき隊

町が委嘱し、主に栄養改善事業の中で調理指導や食生活のアドバイス等を行っている。
現在のメンバーは、大飯地域14人、名田庄地域9人で、任期は3年間。

事業名等		R6		R5	
		回数	人数(延)	回数	人数(延)
各事業	伝承料理教室	7回	20人	6回	16人
	健康づくりのための啓発活動	1回	2人	1回	2人
	(新) 集団健診会場での減塩キャンペーン	9回	16人	6回	10人
	給食サービス(社協依頼事業)	4回	12人	4回	12人
	合宿通学事業(社会教育課事業)	1回	2人	1回	3人
研修会 打ち合わせ等	研修会	2回	25人	3回	25人
	事業担当者打ち合わせ	4回	22人	0回	0人
	食いきいき通信作成	4回	7人	3回	3人
計		32回	106人	24回	71人



集団健診会場での減塩キャンペーンの様子



食いきいき通信(年間4回発行)

4 歯科保健

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標

①健康状態の把握と管理

⑧歯・口腔の健康づくり



(1) 幼児歯科健診

令和6年度	1歳6か月児	2歳児	3歳児
対象者数	52人	59人	64人
受診者数	52人	59人	64人
受診率	100%	100%	100%
むし歯のある者	0人	0人	4人
むし歯の総数	0本	0本	11本
むし歯の保有率	0.0%	0.0%	6.3%
1人あたりのむし歯の本数	0本	0本	2.8本

令和5年度	1歳6か月児	2歳児	3歳児
対象者数	61人	59人	68人
受診者数	61人	58人	68人
受診率	100%	99%	100%
むし歯のある者	0人	2人	7人
むし歯の総数	0本	4本	12本
むし歯の保有率	0.0%	3.4%	10.3%
1人あたりのむし歯の本数	0本	2本	1.7本

2歳から3歳にかけてのむし歯保有者の増加と1人あたりのむし歯の本数の増加が課題である。

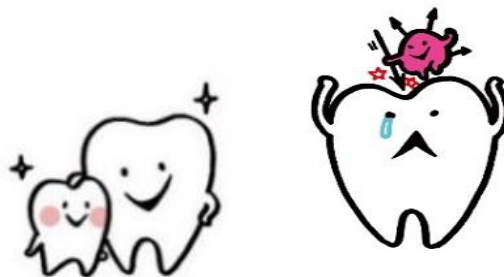
第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標

⑧歯・口腔の健康づくり

(2) 乳幼児歯科指導

健診時に、歯科衛生士によるむし歯予防を中心とする指導を実施している。

年齢が大きくなるにつれ、むし歯の保有率が増加するため、1歳6か月児、2歳児における指導は特にむし歯予防、むし歯を増やさないための指導に重点を置いている。



(3) おとなの無料歯科健診

若狭地区歯科医師会に委託し、歯科医師会所属の各歯科医院で個別健診を実施。
18歳以上の町民を対象とし、申込みがあった方に受診券を送付している。

	令和6年度	令和5年度
申込者数	290人	275人
75歳未満	252人	236人
受診者数	120人	110人
75歳未満	110人	96人

<令和6年度健診結果詳細（75歳未満の受診者）>

う歯	あり	51人	49.1%
		う歯総本数	126本
		1人平均	1.1本
	なし	59人	53.6%

歯肉出血	あり	68人	61.8%
	なし	42人	38.2%

歯周ポケット	健全	47人	42.7%
	浅いポケット	24人	21.8%
	深いポケット	39人	35.5%

口腔清掃状態	良好	39人	35.5%
	普通	69人	62.7%
	不良	2人	1.8%

歯石の付着	あり	64人	58.2%
		軽度	53人
		中等度以上	11人
	なし	44人	40.0%

総合判定	異常なし	33人	30.0%
	要指導	23人	20.9%
	要精密検査	53人	48.2%

5 感染症関係

第4次おおひ町ヘルスプラン 9つの活動目標
⑨感染症対策

令和7年3月31日現在

(1) 定期予防接種

接種者数（人） 接種率（％）

		①ヒブ				②肺炎球菌				③ロタウイルスワクチン				④四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)							
		1回以上接種者		接種完了者		1回以上接種者		接種完了者		1回以上接種者		接種完了者		1回目		2回目		3回目		追加	
年 齢	対 象	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
0歳	46	35	76.1	0	0	35	76.1	0	0	35	76.1	32	69.6	35	76.1	34	73.9	31	67.4	0	0
1歳	43	43	100	28	65.1	43	100	28	65.1	43	100.0	43	100.0	43	100	43	100	42	98	22	51.2
2歳	50	48	96	44	88.0	48	96	44	88.0					48	96	48	96	47	94	44	88.0
3歳	61	60	98	58	95.1	60	98	58	95.1					60	98	60	98.4	60	98.4	56	91.8
4歳	66	65	98	62	93.9	65	98.5	62	93.9					65	98.5	64	97.0	64	97.0	59	89.4
5歳	56	56	100.0	55	98.2	56	100.0	55	98.2					56	100.0	56	100.0	56	100.0	54	96.4
6歳	62	59	95.2	57	91.9	59	95.2	58	93.5					59	95.2	59	95.2	59	95.2	57	91.9
7歳	78													75	96.2	74	94.9	74	94.9	71	91.0

		⑤B型肝炎						⑥BCG		⑦麻疹風しん		⑧水痘			
		1回目		2回目		3回目				I期		1回目		2回目	
年 齢	対 象	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
0歳	46	35	76.1	34	73.9	20	43.5	26	56.5						
1歳	43	43	100	43	100	41	95.3	43	100	34	79.1	34	79.1	8	18.6
2歳	50									47	94.0	46	92.0	39	78.0
3歳	61											58	95.1	58	95.1
4歳	66														
5歳	56														
6歳	62														
7歳	78														

		⑬子宮頸がん（女性のみ）			
		1回以上接種者		接種完了者	
年 齢	対 象	接種者数	接種率	接種者数	接種率
12歳	30	0	0	0	0
13歳	39	8	20.5	4	10.3
14歳	43	15	34.9	8	18.6
15歳	44	24	54.5	6	13.6
16歳	35	19	54.3	12	34.3
17歳	40	31	77.5	24	60.0
18歳	25	20	80.0	18	72.0
19歳	38	25	65.8	17	44.7
20歳	36	18	50.0	13	36.1
21歳	28	13	46.4	8	28.6
22歳	27	13	48.1	10	37.0
23歳	31	11	35.5	7	22.6
24歳	25	16	64.0	12	48.0
25歳	23	13	56.5	12	52.2
26歳	15	9	60.0	8	53.3

※17歳～26歳はキャッチアップ接種対象者

		⑨日本脳炎 I期						⑩麻疹風しん	
		1回目		2回目		追加		II期	
年 齢	対 象	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
3歳	61	39	63.9	32	52.5	0	0		
4歳	66	53	80.3	51	77.3	20	30.3		
5歳	56	52	92.9	52	92.9	34	60.7		
6歳	62	56	90.3	55	88.7	48	77.4	55	88.7
7歳	78	71	91.0	68	87.2	57	73.1	71	91.0
8歳	61	56	91.8	55	90.2	53	86.9		
9歳	62	61	98.4	59	95.2	56	90.3		
10歳	61	59	96.7	58	95.1	56	91.8		

		⑪日本脳炎II期		⑫二種混合	
年 齢	対 象	接種者数	接種率	接種者数	接種率
9歳	62	21	33.9		
10歳	61	39	63.9		
11歳	81	51	63.0	24	29.6
12歳	72	48	66.7	41	56.9
13歳	77	63	81.8	63	81.8
...	...	...	...	...	...
18歳	62	21	33.9		

⑭高齢者インフルエンザ

年齢	R6			R5		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
60歳～64歳		1			0	
65歳以上	2,618	1,596	61.0	2,597	1,658	63.8

⑮高齢者コロナウイルス

年齢	R6		
	対象者数	接種者数	接種率
60歳～64歳		1	
65歳以上	2,618	794	30.3

⑯高齢者肺炎球菌

年齢	R6			R5		
	対象	接種者数	接種率	対象	接種者数	接種率
65歳	118	30	25.4	134	67	50.0
70歳				95	10	10.5
75歳				114	7	6.1
80歳				88	8	9.1
85歳				67	5	7.5
90歳				49	11	22.4
95歳				22	3	13.6
100歳				6	1	16.7
計	118	30	25.4	575	112	19.5

町の接種状況

個人通知で接種勧奨を行ったり、乳幼児健診等で接種状況を確認し、個別に声かけをすることで接種を促している。
ヒブ・肺炎球菌については、開始月齢によって必要となる接種回数が異なるため、1回以上接種した者と接種完了者に分類して集計している。

子宮頸がん予防接種については積極的勧奨が一時中止となっていたが、国からの通知のもと、令和2年12月7日時点での対象者へ、子宮頸がん予防ワクチンに関する情報提供を実施し、希望者のみ接種していた。

令和4年4月1日からは子宮頸がん予防接種の積極的勧奨が再開したことに伴い、定期接種対象者（中学1年生～高校1年生）に加え、積極的勧奨の差し控え期間に接種を逃した方への接種（以下、キャッチアップ接種）が開始された。令和7年3月31日でキャッチアップ接種が終了となるため、個別で接種勧奨を行った。

近年の動向

H24.9～ H24.11～ 不活化ポリオワクチン接種開始（生ポリオワクチンから移行）
四種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳・不活化ポリオ）が定期接種化。
（三種混合・不活化ポリオから移行）
H25.4～ ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの3つが定期接種化。
H25.6.15～ HPVワクチンが、ワクチンの副反応により積極的接種勧奨が一時中止となる。
H26.10～ 水痘ワクチンが定期接種化。
H28.4～ 9歳に対し、日本脳炎Ⅱ期の接種勧奨開始。（接種再開後、標準的な対象年齢に達したため）
11歳に対し、二種混合予防接種の接種勧奨開始。（これまで小学校6年生に勧奨していた。）
H28.10～ B型肝炎ワクチンが定期接種化。
R2.10～ ロタウイルス感染症ワクチンが定期接種化。
R4.4.1～ HPVワクチンの積極的勧奨一時中止を撤廃、キャッチアップ接種が開始。
R5.4.1～ 生後2か月に対し、四種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳・不活化ポリオ）の接種勧奨開始。
（接種対象年齢が生後3月以上から生後2月以上に拡大されたため）
HPVワクチンについて、定期接種化されていた2価・4価ワクチンに加え、9価ワクチンも定期化された。
R6.4.1～ 五種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳・不活化ポリオ・ヒブ）が定期接種化。
（四種混合・ヒブから移行）
高齢者コロナウイルスワクチンが定期接種化。（接種開始は10月以降。）

⑰男性の風しん予防対策事業（令和元年度から令和6年度）

1) 事業概要

1. 対象者：昭和37年4月2生まれ～昭和54年4月1生まれの男性
2. 実施方法
 - (1)抗体検査を受ける 全国の医療機関、町の集団健診、職場の健診等
 - (2)予防接種を受ける
抗体検査で陰性となった場合、医療機関で麻しん風しん混合ワクチンを接種

2) 実績

- (1)抗体検査 実施者数…350人（受診率：40.4%）
抗体陰性者数…124人（陰性率：35.4%）
- (2)予防接種 接種者数…103人（接種率：83.1%）

（2）任意予防接種

①小児インフルエンザ助成事業（平成29年度から開始）

1) 事業概要

- (1)対象者：1歳～小学校6年生まで
- (2)助成額：接種費用の1/2（1,850円を上限）
- (3)助成回数：2回まで
- (4)接種期間：10月中旬～翌1月末

2) 実績

	R6	R5
対象者数	709人	743人
申請者	282人	281人
1回	107人	89人
2回	175人	192人
助成率	39.8%	37.8%
助成金額	680,850円	688,700円

②おとなの風しん予防接種助成事業（平成30年11月から開始）

1) 事業概要

- (1)対象者：抗体検査の結果、陰性であり、以下に該当する方
 - a. 妊娠を希望している女性
 - b. 妊娠を希望している女性の配偶者などの同居者
 - c. 風しん抗体価の低い妊婦の配偶者などの同居者
- (2)助成額：麻しん風しん混合ワクチン 5,000円
風しん単独ワクチン 3,000円

2) 実績

申請者	R6	R5
妊娠希望女性	2人	2人
妊娠希望女性の配偶者等	1人	0人
妊婦の同居者	0人	0人
助成金額	13,000円	10,000円

（3）結核検診

年齢	R6			R5			R4		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
65歳以上	2,616	618	23.6	2,602	625	24.0	2,578	560	21.7

※肺がん結核検診と同時に実施している。

6 精神保健

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
③こころの健康づくり

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき事業を実施している。
(来所相談・電話相談・訪問)

(1) 相談

定例の相談として、大飯地域と名田庄地域でそれぞれ月1回、社会福祉法人若狭つくし会に委託し、こころの健康相談を実施している。定例以外にも随時応じている。

R6 面接：延人数 19人、電話相談：延人数 472人

R5 面接：延人数 6人、電話相談：延人数 296人

(2) 訪問

社会復帰(ひきこもりの改善を含む)などを目的に随時訪問している。

R6 延人数 87人

R5 延人数 97人

7 自殺予防

第4次おい町ヘルスプラン 9つの活動目標
③こころの健康づくり

この事業は、おい町自殺対策計画に基づき実施している。

自殺死亡者数(この統計は年単位で集計しています。)

R6 1人(うち男性1人)

R5 1人(うち男性1人)

(1) 普及啓発

パンフレットや啓発グッズの配布等

(2) こころの相談会

臨床心理士による相談会

R6 2回(4人)

R5 4回(8人)



参 考 資 料

(令和5年統計等)

人口等の概況

令和5年 市町村別人口等

(単位：人、件)

市 町 名	人 □	出生児数	低体重児数	死亡者数	自然増加数
	(10月1日現在)				
県令和4年	752,976	4,861	423	10,519	△ 5,658
令和5年	744,568	4,563	445	10,426	△ 5,863
おおい町	7,533	43	6	124	△ 81
小 浜 市	28,030	152	12	421	△ 269
高 浜 町	9,818	63	11	150	△ 87
若 狭 町	13,188	64	2	230	△ 166

令和5年10月1日現在

市 町 名	乳児死亡数	新生児死亡数	周産期死亡数			死産胎数			婚姻	離婚
			計	後 期	早 期	計	自 然	人 工		
県令和4年	9	6	14	10	4	90	38	52	2,815	850
令和5年	11	5	21	16	5	103	49	54	2,620	942
おおい町	—	—	—	—	—	1	—	1	36	13
小 浜 市	—	—	1	1	—	4	1	3	100	37
高 浜 町	—	—	1	1	—	2	1	1	39	7
若 狭 町	—	—	—	—	—	3	—	3	40	14

(資料：福井県地域福祉課)

(出典：福井県ホームページ 福井県統計年鑑 人口3-15)

年齢3区分別人口

市 町 名	人 □ (人)					総数に対する構成比(%)		
	総数 ^(注)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
おおい町	7,533	1,004	3,955	2,541	1,378	13.4	52.7	33.9
小 浜 市	28,030	3,322	14,632	9,168	5,069	12.2	54	33.8
高 浜 町	9,818	1,110	5,213	3,226	1,804	11.6	54.6	33.8
若 狭 町	13,188	1,584	6,612	4,948	2,834	12.1	50.3	37.6

(注) 総数には年齢不詳も含む。

令和5年10月1日現在

(資料：福井県の推計人口(年報))

おおい町の人口推移(10年前と比較)

	平成25年		令和5年
総人口	8,439人	→	7,533人 (減少)
65歳以上人口	2,376人	→	2,541人 (増加)

市町別世帯、人口

令和5年10月1日現在

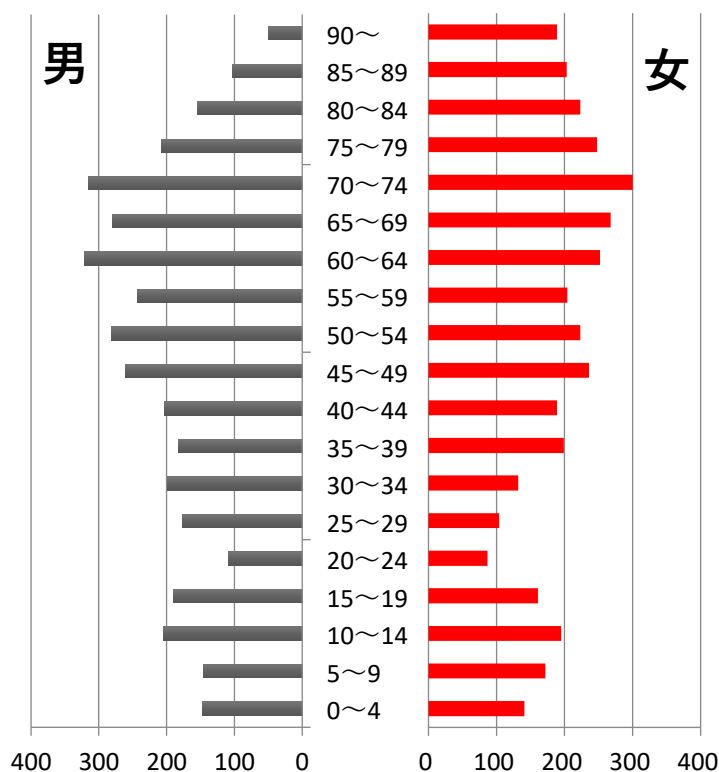
市 町 名	面積 (km ²)	世帯数	人 口			男女比 (女100につき男)	1世帯当たり人員 (人)	人口密度 (人/km ²)
			計	男	女			
おい町	212.19	3,150	7,533	3,802	3,731	101.9	2.39	35.5
小浜市	233.11	12,169	28,030	13,883	14,147	98.1	2.30	120.2
高浜町	72.40	4,439	9,818	5,180	4,638	111.7	2.21	135.6
若狭町	178.49	4,778	13,188	6,367	6,821	93.3	2.76	73.9

(資 料：福井県政策統計課「推計人口」、
国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」)

おい町5歳階級別、男女別人口

年齢	男	女	男女計
0～4	147	141	288
5～9	145	172	317
10～14	204	195	399
15～19	190	161	351
20～24	109	87	196
25～29	177	104	281
30～34	199	132	331
35～39	183	199	382
40～44	203	189	392
45～49	261	236	497
50～54	282	223	505
55～59	243	204	447
60～64	321	252	573
65～69	280	268	548
70～74	315	300	615
75～79	208	248	456
80～84	155	223	378
85～89	103	203	306
90～	49	189	238
合計	3,802	3,731	7,533

※男28人、女5人を合計に含む。



令和5年10月1日現在

(資料：福井県政策統計課「推計人口」)

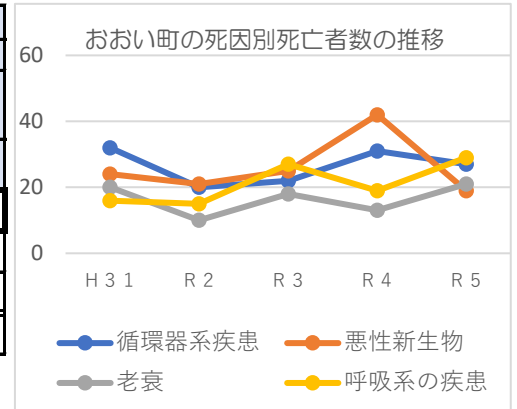
〈特徴〉

男女ともに20代が少なく、くびれている。
10代から70代前半までは 男>女
(30代後半のみ女性の方が多い)
75歳以上は 男<女 と男女比が逆転する。

おおい町の主な死因

(資料：令和5年福井県衛生統計年報人口動態統計)

市町名	(再掲)																							
	死亡総数			(再々掲)									悪性新生物			老衰			(再掲)			(再々掲)		
				循環器系 の疾患			心疾患 (高血圧性を除く)			脳血管疾患									呼吸器系 の疾患			肺炎		
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
おおい町	53	71	124	9	18	27	4	11	15	3	7	10	10	9	19	4	17	21	16	13	29	3	4	7
高浜町	68	82	150	19	30	49	12	19	31	7	8	15	20	12	32	5	17	22	8	4	12	3	0	3
小浜市	179	242	421	37	66	103	11	36	47	22	16	38	47	44	91	17	44	61	26	26	52	0	8	8
若狭保健所管内計	300	395	695	65	114	179	27	66	93	32	31	63	77	65	142	26	78	104	50	43	93	6	12	18



循環器系疾患内訳

	高血圧 性疾患		心疾患 (高血圧性を 除く)		(再掲)								脳血管 疾患		(再掲)								大動脈瘤 及び解離		その他の 循環器系 の疾患	
					急性心 筋梗塞		その他の虚血 性心疾患		不整脈及び 伝導障害		心不全				くも膜 下出血		脳内出 血		脳梗塞							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
おおい町	0	0	4	11	0	2	1	3	1	1	2	5	3	7	1	0	1	1	1	6	2	0	0	0		
若狭保健所管内計	2	8	27	66	3	6	7	10	6	14	10	22	32	31	4	4	12	4	16	23	4	4	0	5		

悪性新生物内訳

	口唇、口腔 及び咽頭		胃		結腸		直腸S状結腸 移行部 及び直腸		胆のう及び その他の胆道		膵		気管、気 管支及び 肺		乳房		子宮		前立腺		膀胱		悪性リンパ腫	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
おおい町	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	2	1	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
若狭保健所管内計	0	1	7	10	7	13	5	3	2	4	4	7	21	3	0	3	0	3	3	0	2	2	8	3

悪性新生物について・・・

【日本】

男性 1位：肺及び気管支
2位：大腸
3位：胃
女性 1位：大腸
2位：肺及び気管支
3位：膵

※人口動態統計 R 5

【福井県】

男性 1位：肺及び気管支
2位：大腸
3位：胃
女性 1位：大腸
2位：胃
3位：肺及び気管支

※人口動態統計 R 4

呼吸系疾患内訳

	インフル エンザ		肺炎		慢性閉塞性 肺疾患		誤嚥性 肺炎		間質性 肺炎	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
おおい町	0	0	3	4	1	1	7	7	3	1
若狭保健所管内計	0	0	6	12	5	1	23	23	9	3

その他死因および内訳

	老衰		消化器系 の疾患		腎不全		慢性 腎不全		糖尿病		不慮 の事故		自殺	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
おおい町	4	17	2	4	1	1	0	1	0	0	3	0	1	0
若狭保健所管内計	26	78	13	17	7	4	5	2	1	2	14	11	3	2